

海外事情 6月3日号

4月29日～5月10日までの主要海外旅行流通関係ニュースを送付します。
今回は、民泊のニュースが多く目立ちました。

英語で **private accommodation, alternative accommodation, home sharing, vacation rental** などと表記されているものを、「代替宿泊施設」とか「ホームシェアリング」とか「バケーションレンタル」と直訳していますが、これらの全ては「民泊」に分類されると理解しています。さて、それぞれの表記の違いは？サッパリ良く理解できていません。**Multifamily short-term rental** とか **apartment style short-rent** とかの表記もあったように記憶しています。

Lyft と Uber の上場が期待外れに終わりましたが、来年に予定されている Airbnb の上場は、どうなるのでしょうか？今回の民泊関連記事を読む限り、そして Airbnb が利益を計上していることなどを考え合わせると、ホームシェアリングの経済は、事業モデルそのものが問われ始めているライドシェアリングより余程良いのではないのでしょうか？だから世界最大のホテルチェーンの Marriott が民泊事業に手を出している。

目次

1. (TJ) AY、旅行会社の NDC 利用促進
2. (TJ) フライトセンターNDC 利用
3. (TJ) エアビー、豪華レンタル開始
4. (TJ) エクスペディア、42%増益
5. (TJ) ブッキング、飲食店販売強化
6. 「グーグルで予約」、T&A 市場で活躍
7. シートリップ、印 OTA 保有株 49%に拡大
8. アマゾン、異なる方法で旅行に参入？
9. マリオット、エアビーに挑戦
10. OYO 欧州レンタルブランド買収
11. インド大手 OTA、法人旅行市場参入
12. 民泊投資バブルか？

13. トリバゴ、3 四半期連続利益計上
14. ブッキング、T&A 強化
15. アマデウス第 1 四半期 増収増益
16. トリアド第 1 四半期決算
17. グーグル、ボイスレンタカー予約
18. ブッキング第 1 四半期決算

1. 「グーグルで予約」、T&A 市場で活躍

T&A ベンダーの Bookingkit (独ベルリン本社) が、Google with Reserve (グーグルで予約) と連携して、19 年第 2 四半期から、サプライヤーと消費者を結びつけて予約や決済まで可能にする。これで、Bookingkit が取り扱うサプライヤーは、Google の検索ないし地図経由で T&A プロダクトを販売できようになる。Bookingkit 以外では、既に Peek, Checkfront, Tqets が Google と契約している。Google は、Touring Bird や Google Trips アプリを含めて多角的な T&A 市場へのアプローチを試みている。Treksoft の今年初目の調査によれば、Google Trips は Viator に次いで 2 番目の事業収益を上げている。(PWD 4/29 <https://bit.ly/2HfNIWM>)

2. シートリップ、印 OTA 保有株 49%に拡大

Ctrip が、インド OTA MakeMyTrip の 49%株を取得した。Ctrip は、南アのインターネット企業 Naspers が保有する MakeMyTtip 株全株を自社株 6%と交換する。Ctrip と Naspers は、17 年 5 月に MakeMyTrip を支援するための \$330M の投資に共同で参加し、両者合計で\$180Mを出資した。その 15ヶ月前には Ctrip が MakeMyTrip に \$180M の投資を行っていた。(PWD 4/29 <https://bit.ly/2E2ROKp>)

3. アマゾン、異なる方法で旅行に参入？

Amazon がクラウド事業経由で旅行市場への参入を企てているようだ、少なくとも今の所は。Amazon Web Service を旅行とレストラン業界に提供するためと思われるが、過去数週間、この業界の専門家集団の人材を募集している。AWS は、ほぼ間違いなく Amazon の最も採算性の良い事業で、世界の半分以上のシ

エア（Gartner）を誇っている。今回の人材募集からは、Amazon が、クラウド ストレージのベンダーから、実際にクラウドのインフラへの移行を支援する 事業への拡大を試みていることが伺える。募集要項には、航空会社、クルーズ、 ホテル、レストランのマーケティング経験者に加え、これらのサプライヤーを支 援するテックベンダーと書かれている。過去 12 ヶ月間では、大韓航空、Ryanair を含む大手航空会社が AWS を採用、今年 1 月にはホテルフランチャイズ Choice が、約 1,000 ソフトウェアアプリケーションを Amazon のクラウドに統合し、 既に CRS と PMS をクラウドで動かしている。Microsoft, Google, Alibaba など のライバルとの競争が激しくなっている。(Skift 4/30 <https://bit.ly/2DGMADe>)

4. マリオット、エアビーに挑戦

Marriott が、エアビーやその他のホームシェアリング企業に対抗して、新たな ホームレンタル事業を開始した。130 万室を擁する世界最大のホテルチェーン (STR Inc.) である Marriott が、欧州における試験的オペレーションの成功の 後で、米国でホームレンタルのプラットフォームを立ち上げる最初の大手ホテ ル会社となる。米国に続いて世界市場への展開も視野に入れている。Airbnb や Expedia の HomeAway を競争仇とは考えていなかった幾つかのホテル幹部た ちも、今や特にレジャー旅客や大家族旅行者がホテルからホームシェアリング に転移していることを認めている。

しかし Hilton や Hyatt を含む他の大手ホテルチェーンは、ホームレンタルを検 討しているものの、この事業に対するはっきりした見通しを持っている訳では ない。Hyatt は、アップスケールのプライベートホームを賃貸する onefinestay の少数株を取得した。Accor は、16 年に onefinestay を買収、18 年 10 月の プレスリリースでこの事業が損失を計上していることを明らかにした。Hyatt は、 Oasis Collection 株についても取得したが、昨年、賃貸管理会社 Vacasa LLC に 売却した。

一方、Airbnb は、ホテル事業にも手を出して多角化戦略を敷いている。Airbnb は、500 万施設 (AirDNA) を擁する世界最大のホームレンタル プラットフォ ームで、HotelTonight を買収し、OYO Hotels & Homes (印) にも出資した。 法人旅行獲得のために法人旅行者相手の豪華賃貸スタートアップ Lyric の 1.6 億 ドル資金調達についてもリードした。Airbnb は来年上場する計画だ。(WSJ 4/29 <https://on.wsj.com/2DEA9bD>)

5. OYO 欧州レンタルブランド買収

OYO Rooms が、欧州民泊プラットフォームの@Leisure Group を €360M で買収した。買収手続完了は 19 年 6 月を予定。これは OYO にとっての初の海外大型投資案件であり、かつ欧州民泊市場への初の参入となる。@Leisure Group は、欧州で 30,000 以上の完全管理レンタルプロパティを保有、Belvilla, DanCenter, Danland を含む 9 つのブランドを運営している。50 カ国に 85,000 のホームを保有する定額使用料金制のホーム管理サービス Traum-Ferienwohnungen ブランドもこの買収取引に含まれる。OYO は、「欧州民泊市場は、2 兆ドルの世界市場の 30%~40%を構成するので、この買収により巨大な機会を得ることができる」と言っている。@Leisure Group は、6 ヶ月前に Casamundo ブランドを、EuroRelais ブランドを含めて独バケーションレンタル メタサーチ HomeToGo に売却した。

欧州の民泊市場は近年戦略的動きが活発だ。Airbnb や HomeAway が欧州市場で自社ブランドの展開を拡大している。10 年創立の Wimdu が、創立当初に Kinnevik と Rocket Internet を含む投資家から \$90M を調達、自らが「Airbnb For Europe」と名乗っていた。9Flats と合併後のほとんど 2 年前に、Wimdu は Wyndham のブランド Novasol に売却された。Wyndham は、Novasol とその他の欧州バケーションレンタル事業を 18 年 2 月（手続完了は 18 年末）に Platinum Equity に売却した。（PWD 5/1 <https://bit.ly/2VvnouL>）

6. インド大手 OTA、法人旅行市場参入

MakeMyTrip（印）が、00 年創立の法人旅行管理会社 Quest2Travel（ムンバイ本社）の支配株を取得した。Q2T は、オンラインプラットフォームで出張規定を遵守した予約、インボイス作成、支出管理、立替清算機能を提供する。Q2T は、Tata Motors, Aditya Birla Group, HDFC Ergo などの多くのインド企業を顧客に持つ。MakeMyTrip は、Goibibo や RedBus を所有している。（PWD 5/1 <https://bit.ly/2VgJrR5>）

7. 民泊投資バブルか？

宿泊と仕事場を一緒にしたコンセプトで売り出している Selina が、先週 \$100M のシリーズ C ラウンドの資金調達を発表した。累計で \$225M を調達、企業価

値 \$850M と評価されて、次のホスピタリティー“ユニコーン”と目されている。HotelTechReport は、昨年の Hyatt の \$430M による The Roads Hospitality 買収と比較して、企業価値評価に関するこの経済に疑問を呈している。HEBS Digital は、「デジタルに精通していない投資家たちによる宿泊施設のデジタルバブルが発生している」と言っている。

しかし投資家たちは、デジタルノマドが多くなりコリヴィングとかコワーキングの市場 (特にスペインやギリシャ) には巨大な商機が存在するので、Selina や Sonder などの let-to-let モデルが、VC を含む投資家たちの投資意欲を掻き立てていると指摘、バブルではないと否定する。

この他、OYO Rooms や RedDoorz のごとのアセットライトやフランチャイズモデルに対しても投資家は注目している。(PWD 5/1 <https://bit.ly/2WLDNYw>)

8. トリバゴ、3 四半期連続利益計上

独メタサーチ Trivago の 19 年第 1 四半期決算が €7.8M のネット利益計上となった。これで 3 四半期連続利益計上となった。前年同期は €21.8M の損失計上であった。総収入は €208.8 (前年同期比 20%減) EBITDA €20.9M (€21.9M 損失) であった。TV 広告から SNS やビデオを使った広告に移行し、特に若い世代に対するブランド認知を強化する。またホテルに加え代替宿泊施設販売を増加させている。現在 180 万の代替宿泊施設をサイトに表示している。これは 18 年第 4 四半期発表時の 150 万軒から大幅に増加。今年 2 月からは、広告主 Schromgens と戦略的イニシアティブについて検討している。(PWD 5/2 <https://bit.ly/2LzQDbr>)

9. ブッキング、T&A 強化

Booking.com が、18 年 4 月に FareHarbour を買収して T&A (Tours & Activities) 市場における立ち位置を強化した。Booking.com Experiences の在庫を FareHarbour 経由で販売拡大する。そして今後数週間以内に FareHarbour 以外のチャンネルマネジャーとの提携を発表する。まずオーストラリアの Rezdy との提携だ。Booking.com は、Rezdy の流通プラットフォームを自社サイトに統合する。これにより、Rezdy の顧客である T&A サプライヤーは、Booking.com Experiences の流通チャンネルを持つことになる他、既存の Rezdy のインターフ

ェイスで、在庫管理、価格決定、アベイラビリティ、予約を実施できる。(PWD 5/6 <https://bit.ly/2Q7ZbVL>)

10. アマデウス第1四半期 増収増益

Amadeus の第1四半期が収入 €1.4B (+5%)、EBITDA €600M (11%) の増収増益となった。IT ソリューション部門は €570M (31%) と大幅増収、流通部門収入は €840M (6%) であった。旅行会社の GDS 予約は 2%増、地域別では北米の 15%増と大幅増加した。同地区が欧州に次ぐ第2位となった。APAC は Jet Airways の運航停止とインド総選挙により 13%減となった。エアー予約は 162.6M、ノンエアー予約は 17.2M。同社によると、旅行代理店での航空予約は業界規模で減速し続けている (18 年の最後の 3 ヶ月間の 1%に対し、0%の成長)。(PWD 5/8 <https://bit.ly/2E3HMs8>)

11. トリアド第1四半期決算

TripAdvisor の第1四半期収入は \$376M (-1%) の減収となった。しかし為替要因を除去すると 1%の増収となる。純利益は \$26M (420%増) EBITDA 利益は \$89M (11%増)。Hotels, Media & Platform の収入は \$254M (36%増)、その EBITDA は \$105M (36%増)、Experiences & Dining セグメントの収入は \$80M (29%増)、EBITDA は \$24M の損失であった。この損失は、同部門の投資とグローバル人材雇用のための費用増による。TripAdvisor は、T&A 市場における収入拡大を狙っている。(PCWD 5/8 <https://bit.ly/2E6d9T5>)

12. グーグル、ボイスレンタ予約

Google Assistant が、音声によるパーソナライズしたレンタカー予約を発表した。例えばモバイルないしデスクトップから「Google、次の旅行で Avis を予約して」と依頼すると、Google Calendar から旅行日と場所を特定し、Google Mail で予約した航空便のスケジュールを抽出し、レンタカーのサプライヤーの Web サイトからユーザーの個人情報 (好みの車種など) を割り出して、パーソナライズした予約を完結する。これは、昨年立ち上げた Duplex プロジェクトの拡大計画の一部による開発である。Duplex では、ユーザーに代わって、擬似肉声によるレストラン予約を可能にした。当初は、Google はレンタカー予約と映画チケットにフォーカスしている。(PWD 5/9 <https://bit.ly/2Jmyb4j>)

13. ブッキング第1四半期決算

Booking Holdings の第1四半期は、グロス収入 \$25.4B (2%増、為替一定では8%増)、収入は \$2.8B (-3%、ただし為替一定では3%増)、EBITDA は \$718M (-10%) であった。純利益は \$765M (26%増) であった。3月31日時点の代替宿泊施設のサイト掲載数 (reported listings) 5.8M (13%増)、しかしその予約数は発表されていない。(PCW 5/10 <https://bit.ly/2Vl14PI>)

14. フィンエア、NDC パーローナープログラム

Finnair が、同社の NDC Partner Program に参加した旅行会社に対して差別化プロダクトの提供を計画している。このプログラムの中で、旅行会社は NDC API 利用による直接接続か、NDC テクノロジー標準を使用したアグリーゲーションプラットフォームを利用するかの 2 つの方法の選択ができる。また同航空会社は、小規模旅行会社向けの Finnair Light Agency Platform を 20 年に開発する。これらの NDC 接続の導入のために FN は Global Distribution System と提携する。19 年は Finnair にとって、NDC と One Order とその他のイニシアティブを通して、流通を長期的に改革する重要な年となる。短期的には、新たな払戻不可運賃とより多い FFP ポイントを直販と NDC チャンネルに提供する。長期的には、ホテル業界の無料 Wi-Fi のようなソフトベネフィットを直販あるいは NDC 運賃に付けることを考えている。NDC 経由しない流通に対するサーチャージは考えていない。LH は、15 年 9 月に GDS 予約にサーチャージを適用した最初の航空会社となった。17 年 11 月には BA と IB が、昨年には AF/KLM がフォローした。反対に AA は 17 年中頃から、NDC 経由予約に対してセグメント当たり \$2 のインセンティブを旅行会社に支払っている。FN の NDC コンテンツは、フィンランド、ドイツ、ノルウェー、ロシア、スウェーデン、スイス、英国で利用可能。10 月 1 日から NDC コンテンツを利用するためには、旅行会社は 7 月末までにプログラムへの参加登録が必要。(PWD 5/10 <https://bit.ly/2Vy4yDj>)

+++++